

ドローン・フェス in INA Valley

鹿検知コンペティション【実施要項】

■はじめに

本実施要項（以下「本要項」といいます）は、ドローン・フェス in INA Valley「鹿検知コンペティション」（以下「本コンペティション」といいます）の実施にあたり、参加団体や参加者（以下「参加チーム」といいます）及び全ての関係者が安全に本コンペティションに臨むことを目的に各種ルールを定めています。



■事業の目的

長野県伊那市は新産業技術推進協議会を設置し、官民協働により、IoTを活用した地域課題解決及び事業創出の推進を図っています。

折しも伊那市は野生鳥獣による農林業被害に悩まされており、中でもニホンジカによる被害が大きくその対応は喫緊の課題となっています。このことから新産業技術推進協議会では、ドローンの活用による獣害対策を活動の柱の一つとしています。

ニホンジカの被害は伊那市だけの問題ではなく、日本全国の広範囲にわたっており社会課題とも言えます。ドローンの活用によりニホンジカの検知が効率化されることは、全国的な有害鳥獣の被害防止対策の進化につながるものと期待しています。

また、ドローンによる獣害対策を実現するにはまだ多くのハードルがありますが、こうしたドローンの技術の確立化を促進することはドローン産業の活性化にもつながり、ひいては日本全体の産業振興にも寄与するものと考えております。

■コンペティション実施期間・時間

<実施期間>

本コンペティションの実施期間は2017年10月19日（木）～10月20日（金）の2日間です。

※表彰式・結果発表会を21日（土）に開催します。各参加チームにおいては代表者（発表者）を選出しご出席をお願いいたします。

※悪天候の場合等、安全のため必要があるときは、実施期間中であっても繰り上げ終了する場合があります。

<実施時間>

○本コンペティションの実施時間は午前10時から午後3時までです。

○各チームは午前9時から準備を開始することができます。競技終了後は、各日ともに午後4時までに実施会場から退出を完了していただきますようお願いいたします。

○各参加チームの飛行時間のタイムテーブルは事前にお知らせいたします。

■コンペティション実施会場

長野県伊那市 ^{かれい}鹿嶺高原（長野県伊那市長谷^{はまひじ}非持3817-1）

※悪天候の場合、近隣の屋内施設にてフライトしていただくことを検討しています（コンペティション形式となるかは未定）。参加チームに後日あらためてご連絡いたします。

■参加資格

- 参加チームは、企業または複数名のメンバーにより構成される団体。法人格の有無や、メンバーの所属組織が同一であるかどうかは問いません。
 - 参加チームのメンバーである個人、及びその個人が所属する企業・団体の構成員に反社会的勢力に属する者が含まれていないこと。
 - 必要に応じ、コンペティション実施日までに国土交通省航空局に無人航空機の飛行申請を行い、許可・承認を得ること。申請書の書き方などについては、事務局より参加チームにあらためてご連絡いたします。
- ※参加チームの人数が5名を超える場合には、事前に事務局までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

■参加費

- 本コンペティションへの参加費用は**無料**です。
- 参加賞として、各チームに12万円ずつ支給いたします。研究開発費をはじめとする準備運営費用に充てていただきますようお願いいたします。

■応募方法

- 特設ホームページよりお申込みをお願いいたします。
URL : <http://www.dronefes-inavalley.jp>
 - 募集チーム数（定員）は15チームです。お申込み順に受付いたします。
- ※申込受付にあたり一定の審査がございます。予めご了承くださいませようお願いいたします。

■競技ルール

- 鹿嶺高原における指定エリア（約700[㎡]×200[㎡]）に設置した鹿ダミーを、ドローンを活用していかに正確に速く検知できるかを競っていただきます。
- ドローンの飛行方法は、原則、自律飛行にて行っていただきます。
- 検知の方法や使用する機器は自由です。

<鹿ダミーについて>

- 鹿ダミーは木製で、特定の色に塗装し、周囲より高い温度を発する特徴を有しています。（写真はイメージ）
- 鹿ダミーのサイズ・色（ピンク色の予定）は統一します。サイズや色情報の詳細データについては、後日参加チームにお知らせいたします。なお、発熱方法や温度の情報についても、後日参加チームにお知らせいたします。



<得点方法について>

○一定時間ドローンを飛行させた後、指定エリアの白地図用紙に鹿ダミーが設置してあると検知した地点をプロットしていただき、事務局に提出していただきます。(座標値で提出いただく方式も検討しています。詳細については後日発表いたします。)

○提出までにかかった時間により算出される「時間係数」と「鹿ダミー設置位置の正解ポイント」を掛け合わせた数値が得点ポイントとなります。その得点ポイントにより順位を決定します。

○「時間係数」は、以下のようなイメージです。詳細については、後日発表いたします。

【例】

- ・飛行終了から1時間以内に解答用紙を提出…5ポイント
- ・飛行終了から2時間以内に解答用紙を提出…4ポイント
- ・飛行終了から3時間以内に解答用紙を提出…3ポイント
- ・飛行終了から3時間超に解答用紙を提出 …1ポイント

○「プロット位置の正解ポイント」は以下のようなイメージです。詳細については、後日発表いたします。

【例】

(プロット位置の正解ポイント) = (正解した個数) - (間違えた個数)
例えば、6個は正解したものの、2個は間違った場合は4ポイント。

<その他>

○各チームが飛行させられるドローンは1台ずつとします。なお、複数のドローンを持ち込んで(要事前登録)、1台ずつ飛行させることは可能です。

○2～3チームが同時に飛行することをお願いする場合がございます。

○LTEを活用し、各チームのドローンの飛行位置を確認するシステムを導入する予定としています。その場合、各チームに約200gの端末を搭載して飛行していただくことを検討しています。

■賞 金

得点ポイントの高い順から「優勝(市長賞)」「2位」「3位」を表彰し賞金を付与します。また、高度かつユニークな技術により鹿ダミーの検知にトライしたと認められたチームを「伊那市新産業技術推進協議会長賞」として表彰します。

<賞金金額>

| | |
|-----------------|-------|
| 優 勝 (市長賞) | 100万円 |
| 2 位 | 50万円 |
| 3 位 | 30万円 |
| 伊那市新産業技術推進協議会長賞 | 20万円 |
| 参加賞 | 12万円 |

■使用可能な施設

チームごとにテント・テーブル・椅子・電源・Wi-Fiを用意いたします。

※使用可能施設における所持品の紛失、その他の事故等について、主催者及び本コンペティションの関係者は一切責任を負いません。貴重品等は各自で管理願います。技術情報及び資料・機器の管理についても、各チームが自己の責任で行ってください。特に、特許化を想定している、あるいはノウハウとして秘密に管理している重要な技術情報に関するデータや資料・機器は、他のチームがアクセスできない状態で厳重に保管してください。技術情報の漏洩等についても、主催者及び本コンテストの関係者は一切責任を負いません。

■その他注意事項

(1) 全般の基準

- ドローンの操作・活動は、日本国の法律を遵守する必要があります。参加チームは本コンペティションが安全に実施されるために、安全対策等の配慮を十分に行うものとし、主催者からの指示に従っていただきます。なお、参加チームのメンバーが禁止事項を行った場合、当該チームは以後の競技に参加できません。
- 本要項は、事前の予告なく変更させていただく場合がございます。変更がありました場合は、参加チームには随時ご連絡いたします。

(2) 使用するドローンに関する基準

- 本コンペティションで使用するドローンの原価に制限はありません。
- 使用する無線周波数については法律に基づいたものを使用してください。
- 主催者はチーム間での無線周波数の調整を行いません。

(3) 禁止事項

本コンペティションの参加チーム及びそのメンバーは、以下に掲げる事項（以下「禁止事項」といいます。）を行うことはできません。参加チーム又はそのメンバーのいずれかが禁止事項に抵触した場合、当該チームは、本コンペティションへの参加資格を失うものとします。

- 本コンペティションの進行及び他のチームへの妨害行為
- 不正な方法による競技課題への参加
- 主催者の指示に反する行為
- 本コンペティションのルール、本要項等に違反する行為
- 故意による実施会場及びその施設、設備等の破壊行為
- 主催者、他のチーム又は第三者の財産、プライバシー等を侵害し、又はそのおそれのある行為
- 法令に違反する行為
- その他、前各号に準じるものとして主催者が不適切であると判断した行為

(4) 本コンペティションの中断

以下のいずれかの事項が発生した場合、主催者は、その裁量により、本コンペティションを中断することがあります。

- 本コンペティションの参加者又は観覧者等に事故、怪我など重大な支障が生じたとき
- 地震、火災等の自然災害等が発生したとき

(5) 紛争等についての免責

- 本コンペティションに関連して、チーム間、チームのメンバー間、又はチーム若しくはメンバーと第三者との間において紛争等が生じた場合であっても、主催者は一切責任を負いません。
- 本コンペティションに関連して、チームメンバー、観覧者やロボット等の機器等に事故その他の損害が生じた場合であっても、主催者は一切の責任を負いません。本コンペティションの参加に当たっては、チームや観覧者自身が安全に十分配慮していただくようお願いいたします。

(6) 著作権等

チームの開発したロボットその他の機器に対して、主催者側は著作権、特許権等の権利を主張しません。

(7) メディア取材

本コンテスト期間中に取材を受けることがありますので、各自予め了承の上、対応してください。開示したくない技術情報・機器等がある場合は、各自の責任で覆い等を行ってください。

■運営体制

<主催>

伊那市

<全体監修>

一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会 (JUIDA)

<企画運営>

ブルーイノベーション株式会社

■お問い合わせ先

「ドローン・フェス in INA Valley」事務局

TEL : 03-5201-3976

(第1版/2017年7月5日現在)